

地域医療連携だより

かまんざ

ダヴィンチを導入しました

| 副院長退任のごあいさつ…2

副院長 長村 敏生

| 特集1

心房細動に対する新しい治療法

ウルフ-オオツカ法…3

| 特集2

ダヴィンチ最新機種Xiを導入しました…4

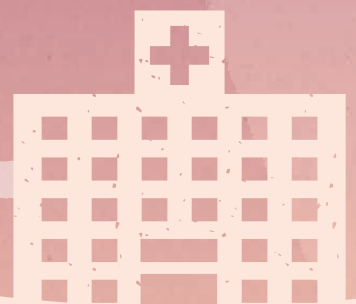
| トピックス…6

症例検討会を実施しました

予約取得・業務時間を変更しました

院内Wi-Fiサービスを開始しました

公式YouTubeを開設します



当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ

地域医療連携係 TEL **075-212-6186**

平日 8:30~19:30
土曜日 9:00~13:00

副院長退任のごあいさつ



退任にあたって

副院長 長村 敏生

地域医療機関の皆様、平素より病病・病診連携にご協力・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。コロナ禍も丸2年が経過し、皆様方には大変ご迷惑、ご不便をおかけすることになってしまい、申し訳ございません。今後とも皆様方の信頼を裏切らないように精いっぱい尽力していきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

私事になりますが、本年3月31日付をもってお世話になった京都第二赤十字病院を退職いたしましたので報告申し上げます。在任中はひとかたならぬご高配を賜りまして本当にありがとうございました。皆様方に支えられて無事定年を迎えることができたことを心から感謝申し上げます。

私は1982年に京都府立医大を卒業し、1990年に当院小児科に赴任しました。当院で医師人生の5分の4を過ごしたことになり、当院での在職32年間の経験により、臨床医として育てていただいたと言っても過言ではありません。そして、それは貴重な症例を紹介いただいたからこそその業績であり、改めて御礼申し上げます。

2017年には副院長を拝命し、経營業務の一翼を担うことになり、地域医療包括ケアにおけ

る病病・病診連携の重要性について身をもって知ったことも、私にとっては貴重な経験でした。急性期基幹病院としては病病・病診連携を通じて急性期の入院患者さんを紹介していただくことが重要で、そのためには職員の自己研鑽と診療内容向上のための努力は当然のことですが、さらに患者さんの入院手続きを円滑に進めるための体制効率化が不可欠です。

その一方で、入院患者さんの急性期治療が終了したあと、スムーズに自宅退院または他院転院できるような準備を入院早期から開始しました。それにより、新たな紹介患者さんをお断りすることなく、常時受け入れられる体制を構築することが、基幹病院にとって運営の基本であることを再認識することができました。

とはいえ、副院長業務は全く慣れないことの連続で、戸惑うことや初めて知ることも多く、この5年間でその重責を十分に果たせたかどうかについては^{じくじ}忸怩たる思いが残ります。しかし時の流れは止まらず、今後はOBの一人として当院の発展を応援するとともに皆様方のますますのご発展を祈念いたします。

最後にもう一度、長い間ありがとうございました。



心房細動に対する新しい治療法 ウルフ-オオツカ法

～身体への負担が少なく確実性が高い心房細動手術～

■心房細動の恐ろしさ

心房細動の最大の問題点は、脳梗塞などの致死的な血栓塞栓症が何の前触れもなく突然起こることです。心房細動による血流のよどみから左心耳に血栓ができ、それが脳へ飛んでしまうことによって脳梗塞が発症します。

それを予防するために、抗凝固療法(ワーファリンやNOAC)がありますが、重大な出血性副作用などのため抗凝固療法の継続が困難な場合、また適切に抗凝固療法をされていたとしても脳梗塞を発症することがあり、完全に予防できるものではありません。

■新しい心臓手術「ウルフ-オオツカ法」

これらの点を踏まえて、胸腔鏡下に自動縫合器を用いて、左心耳を完全に根元から切除+肺静脈隔離(不整脈を治す)を行う「ウルフ-オオツカ低侵襲心房細動手術(ウルフ-オオツカ法)」が考案されました。

当院では2019年8月より本手術法を導入しました。手術は1～2cm程度の小切開を4カ所開け、そこから専用の胸腔鏡、鉗子、自動縫合器を用いて行います。手術時間も1～2時間程度であるため、患者さんにとって負担の少ない優しい治療です。この手術ができるのは、京都では当院のみ、関西でも当院を含めて2施設しかありません。



術後1週間目

手術効果

- (1) 脳梗塞予防効果
- (2) 抗凝固療法(ワーファリンやNOAC)からの離脱効果
- (3) アブレーション効果:不整脈を治す

対象患者

非弁膜症性心房細動の患者さんはすべて対象となりますが、特におすすめしたいのは以下の患者さんです。

- (1) 脳梗塞予防のため抗凝固療法を受けているが、出血、貧血などの副作用や高齢、認知症、腎機能障害などの医学的理由(あるいは社会的・経済的理由)により、有効な治療を安定して継続することが難しい患者さん
- (2) カテーテルアブレーションを何度も受けたり、抗凝固療法を行ったりしているにもかかわらず、脳梗塞を発症した患者さん、脳梗塞の二次予防をしたい患者さん(脳梗塞を起こす前の一次予防がベストと考えています)
- (3) メジャー手術前で抗凝固療法の中止を必要とする患者さん
- (4) 職業などにおいて抗凝固療法により活動制限を受ける患者さん

■不整脈チーム

循環器内科部長井上と心臓血管外科部長後藤が中心となって、すべての心房細動に対応する「不整脈チーム」を結成しました。患者さん一人ひとりの病状、背景に合わせて、チームで協力しながら最適な治療法を選択します。



心臓血管外科 部長
後藤 智行

- ・心臓血管外科専門医・修練指導者
- ・日本外科学会専門医・指導医
- ・胸部・腹部ステントグラフト指導医



2019年8月、当院不整脈チームとウルフ-オオツカ法を考案した大塚俊哉先生(中央)

ウルフ-オオツカ法を希望される患者さん、相談したい患者さんがいらっしゃいましたら、心臓血管外科までご紹介ください。

お問い合わせ先

心臓血管ホットライン
(院内に常駐する心臓血管外科スタッフが24時間対応)
TEL 070-2919-5316

地域医療連携係
(当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ)

TEL 075-212-6186 [平日]8:30～19:30 [土曜日]9:00～13:00

ダヴィンチ 最新機種Xiを 導入しました

泌尿器科、呼吸器外科での
ダヴィンチ手術についてご紹介します。



泌尿器科

ダヴィンチによる前立腺がん手術でQOLを維持

ダヴィンチとは

当院では、昨年末より低侵襲手術支援ロボット「ダヴィンチ(da Vinci)」の最新機種であるXiを導入いたしました。ダヴィンチは、低侵襲技術を用いて複雑な手術を可能とするために開発されました。高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像のもと、人間の手の動きを正確に再現する装置です。

術者は鮮明な画像を見ながら、人の手首よりはるかに大きく曲がって回転する手首を備えた器具を使用し、精緻な手術を行うことができます。患者さんにはよく「ロボットが手術をしてくれるのですね」と質問されますが、ロボット支援手術は完全に医師の操作によって実施されます。

前立腺がん手術を先進技術でリード

泌尿器科のがん領域では、現在男性の罹患率1位の前立腺がんに対して、ダヴィンチを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術(RARPまたはRALP)を行っています。RARPまたはRALPは、以前の開腹手術と比べて短い入院期間で、出血量も少なく抑えることができます。また術後の尿失禁などの合併症もかなり軽減させることができ、非常に低侵襲な手術法といえます。

当院では前立腺がん手術中に経直腸超音波で前立腺や重要な隣接臓器をリアルタイムに描出し、腹腔鏡だけでは認知できない死角を確認できる先進的画像誘導技術「リアルタイム超音波ガイダンス法」で手術を行っています。これは京都府立医科大学でも実践しており、世界をリードする技術です。この技術により、術者が腹腔鏡だけでは見えないがん病巣の存在部位を確認できるようになり、腫瘍の完全切除率の向上と合併症の低減が期待できます。さらに術後尿失禁の早期改善や勃起機能温存の向上により、術前から術後への生活の質(QOL)の維持への貢献が期待できます。

QOLを維持したがん手術を推進

腎臓がんに対してはロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術(RAPN)を、進行した膀胱がんに対してはロボット支援下腹腔鏡下膀胱全摘術(RARC)を導入し、患者さんにできる限り安全で低侵襲なQOLのよい治療を行うことを目標としております。

このダヴィンチを駆使して、地域の患者さんや先生方のご期待に応えられるように努力してまいりまいる所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



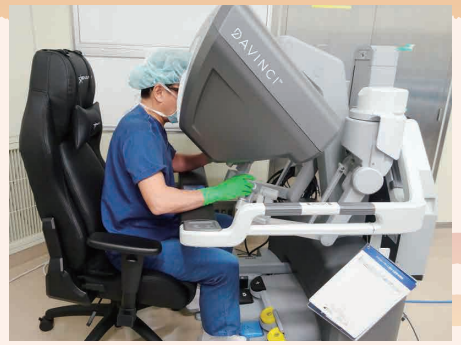
泌尿器科 部長 邵 仁哲

所属学会・
認定資格

- 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
- 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医・審査委員
- 日本性機能学会 専門医
- テストステロン治療認定医
- ロボット支援手術certificate



◀ 手術用ロボット。画面奥が患者頭側となり、足側より清潔なビニールで覆われたロボットアームが患者体内に挿入される。清潔な状態の助手と看護師が手術のサポートを行う



▶ サージョンコンソールを操作する術者。ステレオビューアーを覗きこみながら鉗子類、内視鏡カメラを操作する

呼吸器外科

呼吸器系ダヴィンチ手術が保険適用に

ロボット手術の始まり

世界におけるロボット手術の始まりは1990年代頃からで、初めは声で腹腔鏡を操作するものが開発されました。その後、心臓外科領域の手術に使用する目的で「ZEUSロボット手術システム」が開発されましたが、2003年に「ダヴィンチ (da Vinci)」を開発したIntuitive Surgical社と合併することでZEUSの開発は中止に至っています。

現在では、ロボット手術といえばIntuitive Surgical社のダヴィンチを用いた手術と認識されるようになっていきます。日本では、2009年に医療機器としての薬事承認を取得しましたが、当初は自費診療で行われていました。

保険適用となったダヴィンチ手術

2012年に前立腺全摘術が、2016年には腎悪性腫瘍切除術が保険収載されています。2018年4月から呼吸器外科を含めた12術式で保険適用となり、呼吸器外科領域ではロボット支援胸腔鏡下手術「RATS (robot- assisted thoracoscopic surgery)」として急増することとなりました。

現在、呼吸器外科で保険適用となっている術式は、2018年より①胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除または1肺葉を超えるもの)、②胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術、③胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術の3つが、2020年より④胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)、⑤胸腔鏡下拡大胸腺摘出術の2つが追加され、計5つの術式となっています。

患者の体内に入った感覚の手術

ダヴィンチには4本のアームがあり、それに付けられた内視鏡カメラと3本の鉗子を体内に挿入して手術を行います。鉗子は人の手首の動きを模した7方向の動きを可能とし、手振れ補正も行われます。また、内視鏡から得られる視野は3D画像で術野を10倍に拡大視して見られることから「術者が患者の体内に入ったかのような感じでの手術」と表現されるようです。

実際に当院での第1症例目を執刀させていただきましたが、現れる画像は実に鮮明で、臨場感あふれる術野はまさに体内に入ったような感覚を受け、驚きました。

特性を理解し、よりよい手術を

当院で導入されたダヴィンチは4世代目のXiであるため、術者が専用のステープラーを用いて肺・肺血管・気管支を切断することもできます。

RATSで手術を行うメリットとしては、①出血が少ない、②術後疼痛の改善、③回復が早い、④傷口が小さいなどが挙げられます。一方で、①触覚の欠如、②ポート数、③医療コスト、④胸腔内を陽圧とする人工気胸での手術というような不利な点も認められ、臨床的優位性を付けたい面も指摘されています。

しかし、ダヴィンチシステムの特性と適応をよく理解した上で、症例ごとに見合った術式を提供していくことでよりよい手術が可能になると確信しています。



やなだ まさし
呼吸器外科 部長 柳田 正志

所属学会・
認定資格

- 日本外科学会 認定医・専門医・指導医
- 日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医・評議員
- 胸腔鏡安全技術認定制度 認定医
- ロボット支援手術certificate
- 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・気管支鏡指導医

症例検討会を実施しました

2022年1月29日(土)に「第1回右京医師会合同症例検討会」を実施しました。会場の様子を撮影してリアルタイムでオンライン配信し、会場で実際に会議に参加する人と、オンラインで参加する人をインターネットでつないで行う「ハイブリッド形式」で行いました。



「内視鏡的切除を行った胃病変の一例」
消化器内科 中村 志歩



「ロボット支援人工膝関節置換術」
整形外科 医長 平井 直文



「当院のCOVID-19感染対策について」
感染制御部 部長 盛田 篤広

お知らせ

予約取得・業務時間を変更しました

当院へ患者さんをご紹介いただく際の予約取得・業務時間について、3月1日(火)から下記の通り変更しました。

変更前

平日 8:30～20:30
土曜日 9:00～13:00



変更後

平日 8:30～19:30
土曜日 9:00～13:00 (変更ありません)

時間外で緊急を要する場合については、従前通り救急外来(075-212-6119)へご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

院内Wi-Fiサービスを開始しました

当院に来院される方の利便性向上を目的として、院内にフリーWi-Fiを開設しました。全館無料でご利用いただけます。ご利用にあたっては、利用規約への同意のうえ、マナーを守ってご利用いただきますようお願い申し上げます。



公式YouTubeを開設します

当院の紹介動画をアップする公式YouTubeチャンネルを4月中旬に開設予定です。当院へのアクセス、外来受診の手続き、院内の設備などを紹介していきます。閲覧可能となりましたら当院ホームページでご案内しますので、ぜひご覧ください。

